

卒業生 × 在校生 対談



ダンスエンターテインメント本科
新津さん

俳優本科
中川さん

卒業生

振付師
モーションアクター
パフォーマンスディレクター
ARAKIYUKA inc.代表
荒木 結花氏

俳優本科
長谷川さん

ダンスエンターテインメント本科
久米さん

最先端テクノロジー×ダンス・振付で新しい職業のパイオニアとして活躍



ARAKIYUKA inc.

ARAKIYUKA inc.

代表の荒木結花が2021年に設立。自身の情熱と技術を受け継ぐ仲間たちと様々な形でキャラクターに生命を吹き込むサービスを提供しています。振付やモーションアクトに限らず、2023年から日本最大級のKPOPランダムダンスイベント(KPOP RANDOM DANCE JAPAN)も手がけている。



振付師
モーションアクター
パフォーマンスディレクター
ARAKIYUKA inc.代表

卒業生 荒木 結花氏

小学6年生から滋賀県にてLOCKダンスを習い始め、高校卒業後すぐに上京。渋谷のDATOKYOへ入学し、ダンサーとして仕事をすべく2年間様々なジャンルを学ぶ。卒業後は事務所に所属しTV、MV、LIVEなど様々なアーティストのバックダンサーを経験。退所後、モーションアクトに興味を持ち、今までの経験を生かしながらキャラクターへの振付やモーションアクトに特化した活動を3年間行った後、自身の株式会社を設立。現在は若手の育成にも力を入れている。

人との出会いと繋がりが

それ以上のものをもたらししてくれる

学生: 荒木先輩は、卒業後はどのような経緯で、現在のお仕事に辿り着いたのでしょうか？
荒木: 卒業後、バックダンサーのお仕事をメインに事務所に3年間ほど所属をしました。事務所を退所してからは、フリーランスとして、アイドルの振付やダンスレッスンを始めました。ちょうどそのころにVTuberなどが続々とたくさん誕生して、バーチャルキャラクターやボーカロイドの振付やモーションアクターの仕事

に出会いました。これをメインでやっていこうと自分の中で決めてから、在学中に培ってきた人脈を使ってご縁をいただけたことがきっかけです。
学生: 卒業後に、事務所に入られた経緯を教えてください。
荒木: 卒業後の進路は二択で考えていて、事務所に所属するかフリーでいくかですごく悩みました。結果的に、フリーの状態には不安は

あったのと、たまたま学校で事務所のオーディションがあったので、事務所に入るという選択をしました。
学生: 会社を立ち上げたきっかけも教えてください。
荒木: 私は学校で、先輩や先生から育ててもらいました。だからそれを、今度は若い人たちに返しをしたいという気持ちになったのがきっかけです。
学生: 荒木先輩が今、在学中にやってよかったこと、もっとやっておけばよかったなと思うことはありますか？
荒木: 学校の授業やプロジェクトに積極的に参加したことで、そこでの人との出会いや繋が

業界で大活躍中の卒業生 荒木 結花氏 × 在校生 対談



りが生まれて、仕事にも繋がっていった部分は大きいです。それから仕事をしていると、ダンスだけではなく、演技やボイストレーニングも学んでおけばよかったなと感じる事が多いです。ビデオ編集のようなダンスとは違う技術も、マルチに身につけておけたら、もっと良かったかなとも思いますね。

好きなことがあれば

一歩を踏み出す勇氣に！

学生: 卒業後、最初に壁にぶつかった時のことを覚えていますか？また、その壁を乗り越えるためには、何が必要なのでしょう？
荒木: 事務所では先輩方から厳しいご指導をいただいて、大変だった部分も正直言うとうりでした。でもその3年間の経験は全てが今に生かされているので、根性とハングリー精神は何よりも大事だと思います。

学生: 振付をするにあたり、おすすめのアイデアなどのインプット方法はありますか？

荒木: 学校でのレッスンも充分インプットになりますし、自分の好きなテレビや映画などの中にもヒントがあります。私は、イラストを参考にしたりすることがあります。バーチャルキャラクターのファンの方が描いた、素敵なイラストがいっぱいあるんです。そこには、自分では想像が出来なかったポーズがあって、そこから振付のヒントを得たりします。

学生: 荒木先輩の振付の特徴は、ご自身では何だと思われませんか？

荒木: 私は、ダンスの振りに加えて演技のような動きを入れるのが好きですね。カウントでは

ない動きを入れると印象に残るし、ファンの方が喜んでくれるんです。あとは歌いながら踊るので、息を吸うタイミングをちゃんと作ってあげるとか、歌いやすい振付にすることですごく大事なので、そこも意識するようにしています。

学生: 1番大変だった現場でのエピソードを教えてください。

荒木: セットリストが、メドレーも含めて2日間で50曲あって、しかもスケジュール感がかなりタイトで痺れたことがあります。その時はもうすでに起業していたので、仲間がいたから乗り越えられました。

学生: 好きを仕事にする素晴らしさはどこにあると思われませんか？

荒木: やっぱり楽しい、もうそれに付きまね。皆さんも好きなことがあるのなら、まず1歩踏み出してください。それを毎日頑張っ

ていければ、扉が開く日が必ず来るので、そこを目指して頑張ってください。

——最後に、これからこの道を志す学生の皆さんにエールをお願いします。

荒木: 学校生活って、本当にあっという間に過ぎていきます。だから、毎日を大切にしてください。「休まないで授業を受ける」「提出物の締め切りを守る」「メールの返信はすぐにする」「挨拶や返事はちゃんとする」、そういう基本的なことは社会にでてから教えてくれる人はいないので、しっかり身につけてください。それから、これは好きだけれどこっちの方が褒められるみたいなことって、実はあったりします。それが仕事に活かされることがあったりするので、好きは見ついている人が多いと思いますが、是非得意も見つけられるとよいと思います！

